

令和3年度事業報告

令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症が本格的かつ世界規模に拡大をくりかえしたことに伴い、令和3年度のシルバーの事業活動に大きな影響を及ぼしました。

2度の緊急事態宣言の影響で、芝桜まつりをはじめとしたイベントに参加ができなかった事を始め、多くの就業先で就業が縮小されました。その後は、ある程度持ち直し、実績は概ね前年を上回りました。

実績では、年度末会員数は、760人で3人の減となりました。事業実績は、受託事業は3%増の3億4千万円台、派遣事業は31%増の3千2百万円台となりました。

制限のある中、事業運営にあっては、理事会及び3つの委員会を中心に行いました。

以下、主な事業の成果についてご報告いたします。

- (1) 安全・適正就業意識の啓発
- (2) 会員の入会促進
- (3) 就業機会の開拓
- (4) 就業機会の公平な提供
- (5) 普及啓発の促進
- (6) 各種研修会の開催
- (7) 運営体制の強化
- (8) 有料職業紹介事業の実施
- (9) 派遣事業の実施
- (10) ボランティア活動の推進
- (11) 独自事業の実施
- (12) 定住自立圏事業の実施
- (13) 地域就業機会創出・拡大事業の実施
- (14) 健康づくり・フレイル対策

1 安全・適正就業意識の啓発

安全・適正就業委員会による委員会の開催及び現場巡回を実施して、安全な就業環境及び適正就業の推進を図る取組みをするとともに、健康管理について啓発を行いました。令和3年度の事故の状況は、傷害事故5件、物損事故6件となりました。事

故の防止、安全就業の確認を目的に、安全チェックシートの記入を義務化するとともに、草刈機を使用しての就業を希望する会員に対し、「刈払機作業従事者安全衛生教育講習会」を受講し終了すること及びセンター指定の講習を年1回以上受講することを義務化し、安全就業に努めました。

また、「安全・適正就業だより」を随時発行しました。

2 会員の入会促進

毎月10日（休日の場合は翌日）に実施予定した入会説明会は、新型コロナウイルスの感染予防対策のため行わず、事務局に於いて個々に説明して登録手続きを行いました。80名の入会があり、内30名はシルバー連合の会員拡大キャンペーン（1月～3月）の結果による入会者でした。

3 就業機会の開拓

安全巡回等を実施した際の発注者への就業開拓の働きかけ、理事と会員による就業開拓、会員が就業先でのPRに努めるなど、就業機会の確保と会員の能力を活かした新しい就業分野の拡大に努めました。

4 就業機会の公平な提供

仕事情報を掲載した「通信シルバー秩父」を年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）、「お知らせ」を年6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）発行し、「就業案内」は毎月作成して会員に配布しました。公平な就業機会の提供を行うために、各種資料を事務所内のラックに設置し、また、ホームページにおいても就業案内を掲載しています。

5 普及啓発の促進

新型コロナウイルス感染予防のため、シルバーまつり、他団体への参加によるPR活動は実施できませんでした。埼玉県シルバー連合との連携事業としての就業体験事業についての開催は11回となりました。地元FMラジオでのPRは、会員の活動状況を中心に11回行いました。

6 各種研修会の開催

会員の技能向上と後継者育成のため、植木剪定講習会を2回実施し、延べ56名の参加者がありました。草刈機取扱い講習会及び実地研修を6回行いました。延べ112

名の参加者がありました。

7 運営体制の強化

新型コロナウイルスの影響で、書面決議での開催もありましたが、理事会、委員会の機能強化を検討し、規程の整備を行うと共に理事中心の活動を行いました。

8 有料職業紹介事業

令和3年度実績はありませんでした。

9 派遣事業の実施

定款変更により、派遣事業における人手不足分野の業務拡大が可能となりました。

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として、飲食店や旅館での皿洗い、清掃作業、工場内の部品組立、一般事務等に47名の会員が従事し、就業延人員4,622人日、シルバー人材センター連合における契約金額は、32,365,799円となりました。

法定研修を含む派遣会員研修（教育訓練）を17名が受講しました。

10 ボランティア活動の実施

新型コロナウイルスの影響で、例年実施している市内清掃ボランティア、南小学校の児童への秩父音頭の指導は行いませんでした。

しかしながら、会員による福祉女性会館周辺の除草作業、無人販売所での野菜販売等、地域の市民との交流を深めるための事業の推進を図りました。

11 独自事業の実施

企画提案型事業（シルバー農園事業等）で立ち上げた農園事業を年間を通し、交流を深める希望を持った会員の参加を促し、事業を実施しました。

また、竹細工人形、すかり、小物等の委託販売の実施、手作りまんじゅうの販売、を随時実施しました。

12 定住自立圏事業の実施

1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町）からの委託事業としてファミリー・サポート・センター事業及び秩父市からの委託事業として産前・産後サポート・センター事業の充実を図りました。シルバー会員やシルバーに入会が期待され

る方の活動を中心に行いました。

安心、安全な活動ができるよう、厚生労働省の推奨するファミリー・サポートスキルアップ講習会（9科目、25時間）を実施し、11名参加しました。

13 地域就業機会創出・拡大事業の実施

就業開拓及び普及啓発について、口コミ、チラシの配布等で行いました。空き家の適正管理、墓地の清掃等就業を進め、家事援助サービス事業については、家庭の清掃を実施し、就業の拡大につなげました。

14 健康づくり・フレイル対策

健康増進、会員獲得等目標に、実施を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で、断続的に実施しました。